

【沖101号】 昭和41年2月15日発行 非売品 発行所 園見町公民館 発行人 佐藤善次郎 編集人 鈴木美一 印刷所 宇佐美印刷所

よい子を育てる

二本のはしら

戦後わが国で は六・三・三の教育制度のもとに小、中学校の百パーセント実施はもちろんである。最近の幼児教育の重要性が叫ばれ、県内ほとんどの町村に幼稚園が設けられ、園見町もその一環として、早くよりその必要性を認め



園見町 祝成人式 昭41.1.15

◎春は火早い節です……火の用心出さぬ用心消す用心

教育委員会の系統で実施するの、いろいろな点で違いがある。たとえば保育所は三才からの幼児を預り、午後までしかおやつなどを与えながら保育してやるのに対して幼稚園は、入学前一年間だけでしかも午前中だけとっている。保育料の点でも貧富にかかわらず一律徴収という点で、これまでの保育所的な考え方ではわりきれない。

申込みは早く

(藤田幼稚園)

入所児童を受け付けます

(藤田保育所)

きたる四月から開設される藤田幼稚園の園児を左記により募集します。ご希望の方はお申込み下さい。 1 幼稚園の目標 2 募集対象及び人員 3 申込み期間及び場所 4 保育料及びその他の経費

父の注文—成人の日に—

太郎よ。おまえも、きょう成人の日を迎えた。終戦のすぐあとに生まれ、戦争の暗い記憶も、占領中のイヤな思い出も、何も知らずに、戦後日本の若い民主主義の空気を胸いっぱい吸いこんで、たくすくす育ったおまえだ。これまでは未成年でもあったが、やがていよいよやらせてきたが、もうおまえも大人の仲間入りをしたのだ。ひとつの注文を出しておきたい。それは「共同社会への連帯責任感をしっかり持つ」ということである。敗戦は日本の旧い秩序を根底から崩壊させた。それと同時に教育の内容も、社会の指導理念のうえで混乱を生じた。自由である

大はんじょうの善意銀行 大いに利用されたい。 ○利息も担保もいりません ○保証人もいりません ○五千円までお貸しします ○三月まで返済することになっています ○月払いでも一時払いでも結構です ○わたくしは民生委員(支店)といっています。善意銀行から貸出す金は二月一日から五千円まで増額されたので

交通安全 交通安全は、都市部だけでなく、地方においても増加しています。交通安全は、わが国見町においても多くの犠牲者を出し、被害者ももちろん加害者にも大きな痛手を与え、その精神的物質的な損害ははかり知れないものがある。「交通安全」これは、われわれ日本人のみならず、ひろく世界各国共通の願いとなってきたといわれる。財団法人全日本交通安全協会が、都市部だけでなく、地方においても増加しています。交通安全は、わが国見町においても多くの犠牲者を出し、被害者ももちろん加害者にも大きな痛手を与え、その精神的物質的な損害ははかり知れないものがある。「交通安全」これは、われわれ日本人のみならず、ひろく世界各国共通の願いとなってきたといわれる。財団法人全日本交通安全協会が、都市部だけでなく、地方においても増加しています。交通安全は、わが国見町においても多くの犠牲者を出し、被害者ももちろん加害者にも大きな痛手を与え、その精神的物質的な損害ははかり知れないものがある。「交通安全」これは、われわれ日本人のみならず、ひろく世界各国共通の願いとなってきたといわれる。財団法人全日本交通安全協会が、都市部だけでなく、地方においても増加しています。

幼稚園設置条例など決る

一月二十四日午後一時、本年度初の臨時議会が招集され、会期一日と決定。次の議案が審議可決された。 議案第一号 園見町職員給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正について 議案第二号 昭和四十年年度園見町水道特別会計補正予算(オイ三)による補正で、今回の実質補正は三万円、総

完成間近い施設三つ

藤田駐在所 役場隣りに四号国道に面して新築中



大木戸集会所 元大木戸中学校跡に新築中

二月二十日(第三日曜日)は家庭の日です……「まずみんなの話し合いから」

農村建設班について

補導員 五十嵐 衛

本年度の建設班も多くの方面から多大の支援と激励を受け、所期の目的を果して間もなく修了することになった。だが、この機会に建設班の目的と性格を述べて日頃の厚情に対する感謝のしるしとして、

これからの農村を明るく住みよい郷土に育てあげていくためには、新しい感覚とたくましい実践力をもった青年が中心にならなければならない。わが町の農村建設班は、

寝食を共にして

団員の研修会

農見町青年連絡協議会(会長 長佐藤洋一君)では青年学級と共催、町公民館の後援を受けて団員研修会を開いた。各地区から選ばれた中堅団員たちは、土湯青年の家(福島市立)を会場とし、一月二十三日より二泊三日、共同生活をしながら、福島大学の佐藤



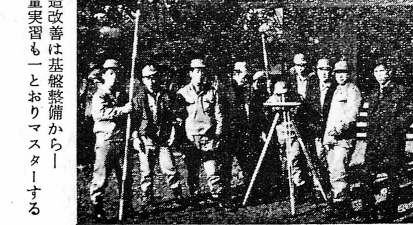
農見町青年連絡協議会(会)と共催、町公民館の後援を受けて団員研修会を開いた。各地区から選ばれた中堅団員たちは、土湯青年の家(福島市立)を会場とし、一月二十三日より二泊三日、共同生活をしながら、福島大学の佐藤

利雄先生の「青春の生き方」県教委佐藤利三郎先生の「青年団の目的性格とその運営」などについて講義を聞き、更に産業、文化、体育、社会、総務などの部会にわかれ、それぞれ力のある年間事業計画の立て方を実際にやってみるなど、あたかも中央における幹部研修会の内容にも比すべき充実したもので、これからの団運営に大きな効果を及ぼすものと期待される。

- 一般教養的学科
 - 世界の情勢と日本の立場
 - 地方自治法、郷土史の研究
 - 青年の生き方、町財政、人間関係、民謡と詩の研究
 - 交通法規
- 農業の学科
 - 町の農業政策、今後の農業経営、農業改善事業、農業共済制度、農業基本法、農業協同組合(総論及各論)、農業簿記、林業経営、稲作、果樹、そさい、土壌と肥料、農業について、養蚕
- 実習
 - 大型ホエルトラクターの運転操作、測量(外業内業)、農機具の構造と取扱、共同作業
- 日課
 - 起床、洗面
 - 朝の集い(国旗掲揚、国歌、体操、かけあし)
 - 宿舎内外清掃
 - 朝食
 - 朝礼
 - 講義又は実習
 - 昼食
 - 講義又は実習
 - 国旗降納
 - スポーツ
 - 夕食
 - 自習、歌の練習
 - 共同学習
 - 点呼(我等の目標)
 - 日の終り合唱
 - 消灯(一日おき)
 - (入浴は一日おき)



建設班は、地城の実状に合せ各種青年施策を有機的に体系化し、効率的に運営することをわが町の建設班も、県事務



○運動免許をめぐしてホイトラクターの操作実習



○運動免許をめぐしてホイトラクターの操作実習

建設班で、町村単位に一定の青少年をもって編成し、学習クラブ活動、共同作業、一貫した集団生活を通して自治能力を養い、新しい農業経営を推進するために必要な知識と技術を習得せしめ、更に不屈不撓の実践力を養成しようとしている。

従来、青少年の資質を向上し、集団活動を促進するために各種の施策が行われてきたが、これはいずれも個々ばらばらで相互連絡が不十分で、効果を得られなかった。建設班は、地域の現状に合せ各種青年施策を有機的に体系化し、効率的に運営することをわが町の建設班も、県事務

「としよりに休養と慰安を」

老人をどう処遇するか……(七)

ばならない状態です。そこでこうした老人には、まず休養をとらせること、大きくいえば農村構造全体の問題として国家的な慰安休養の場所を作るべき

よりよい話し合いの時間をもちましょう

少年の非行の芽は家庭から、娘さんや女子生徒の家からとよくいわれますが、少年の非行を防止する、最も大切な役割を果しているのが各家庭の皆さまです。学期末は、いろいろな面で、少年に閉りが降りかかる時期ですから、「うちの子に限って」などと過信する事なく、夕食のひとときを、よりよい家庭の日として是非子どもと話し合いの時間をとって、かわいい子どもを非行から守り、下っかきの手をたたくてあげてください。なおお近頃、性的犯罪の発生が増加しております。

福島県内	昭和三十九年	昭和四十年	増減
犯罪少年	二、五二五	二、五八四	五九
触法少年	三、一五二	三、一八四	三二
少年	三、一五二	三、一八四	三二
特別法犯	六、一七五	六、二八八	一一三
特別法犯	六、一七五	六、二八八	一一三

(特別法犯中道交違反が九五パーセントを占めている)
 (昭和四十年十一月末日現在)
 桑折署管内

史跡をたずねる会

と き 三月一日

と ころ 小坂方面

集 合 午前九時

準備 小坂農協前

準 備 前回と同じ

献 迎 特別新参加者

新生活いろは

がらた

い、一日のはじめは朝はげんきよく、ろくでない議論はやめてまず実行は、掃くよりは捨てないみんなの心がけに、ここにこそ笑顔で親切よい仕事は、ほめながら上手に子育てしましょう(へん)な目で見ればよい子と、年よりをうやまい目上は立てましょう、ちやえを出し心をわけて話し合い、り、りこうでも小知恵小才はばかのうちぬき捨てやめは捨てやめ、お守りをはえんりよをせず、にたのみあい、お、起きぬけに花を見守る日々、わかれこそお山の大将心として、か、考えをば何でも生きか、喜びは喜びを生み福を生む、立つ鳥は後をにごさぬ旅の宿、練習をおこたらずして一等賞、損得をはなれてはじめて得をする、(〇)のつづきあなたも作ってみてください。

あなたかいい思いやりで

学年末を

「本県の非行少年は、反抗的で、集団化している」と新聞は報道しています。青少年の不良化防止の問題は、今や大きな社会問題となっており、国も県もききとっていろいろの対策を講じていますが、依然として少年非行は増加しています。(別表)

二月、三月は、少年たちにとって、卒業、進学、就職など、新しい人生の希望が芽ばえてくる大切な時期で、この新しい希望の芽ばえと共に、いるような少年問題が、どこか家庭で大きくなり、生じた、やすいのが学年末なのです。たとえば、就職にあたってお父さんお母さんとの意見が対立したか、進学に対する親

どうぞ

よろしく

一月から保健婦の受持地区がわかりました。家庭訪問により、地域の皆様の保健サービスに努めます。前任者同様お気軽にご利用ご相談ください。(住民課)

記

大町南北、本町 渡辺ヨシエ

大町南北、本町 佐藤トヨ子

小坂地区 石母田 大木戸 光野 ヨシ